

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 ビケンテクノ
(証券コード：9791／東証スタンダード)



BIKENTECHNO
with advanced technologies

目次

3 当社およびグループ会社の概要

4 2026年3月期第2四半期 連結決算の概要

17 今後の課題

18 当社グループの成長戦略

21 当社グループのサステナビリティ戦略

経営理念

「お客様第一主義に徹する」

代表者挨拶

代表取締役社長 梶山 龍誠

私たちビケンテクノは1963年の創業以来、お客様第一主義の実践を理念に、ビルメンテナンス事業を中心として成長してまいりました。

お客様のお困りごとを解決するため挑戦を続けて幅広い分野へ事業を拡大してきております。

今、社会は地球環境問題や労働力不足といった大きな課題に直面しています。私たちは「先端技術のビケンテクノ」をスローガンとして掲げ、省エネ・DX・ロボット活用など独自の強みを活かし、持続可能な社会に貢献してまいります。

これからも創業以来の理念を大切に、安全・安心と快適を支える企業として挑戦を続けてまいります。

2026年3月期 第2四半期 連結決算業績

(百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減額
売上高	16,727	17,674	+947
営業利益	564	1,022	+457
経常利益	633	1,038	+404
親会社株主に帰属する 中間純利益	406	671	+265

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

ビルメンテナンス 事業

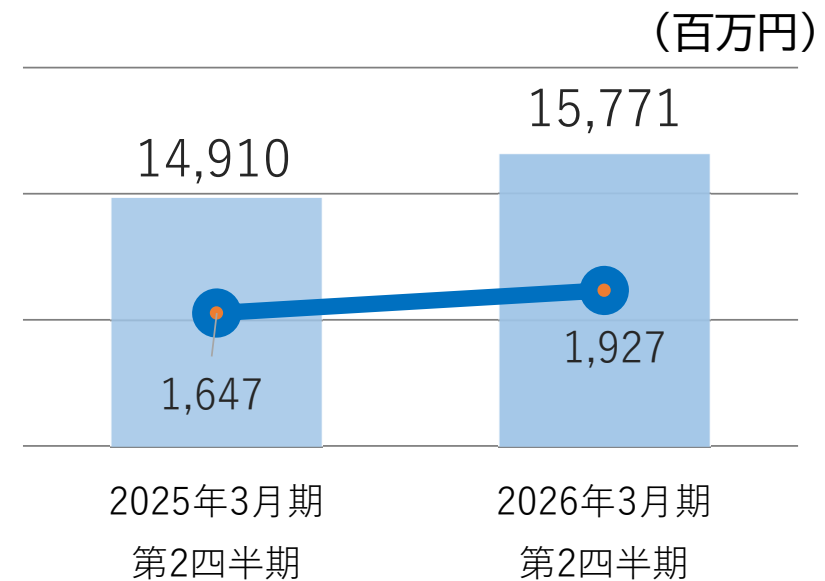


ビルメンテナンス 事業

大型再開発案件を含む新たな商業施設や物流施設のメンテナンス業務等の受注増加や、経済活動活性化に伴う工事受注、大阪・関西万博を契機とした業務拡大などによる堅調な業績の進展が見られ、前年同期比で売上高・営業利益が増加しました。

売 上	15,771 百万円
利 益	1,927 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



不動産事業

不動産 売買

不動産 売買仲介

不動産 賃貸

信託受益権 売買

信託受益権 売買仲介

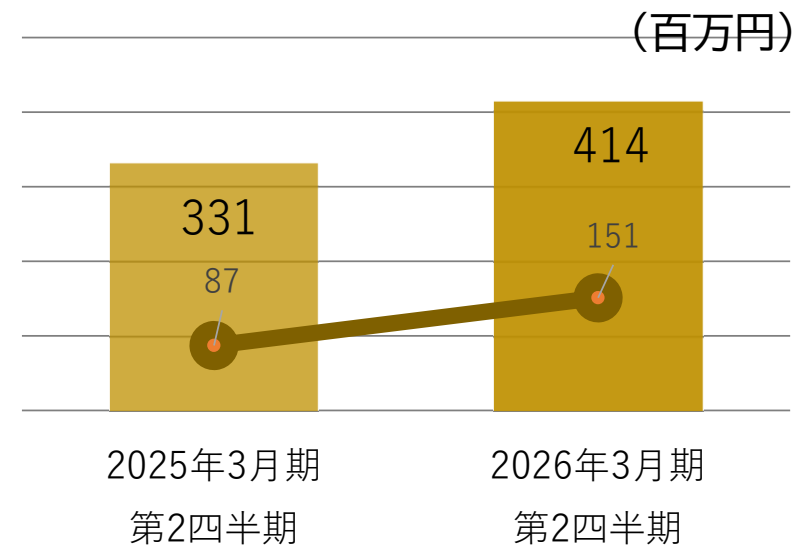
不動産リノベーション等

不動産事業

第2四半期中では大口棚卸不動産の売却はありませんでしたが、取得物件の賃料見直し、入居者増などによる賃貸収入の増加により、前年同期比で売上高・営業利益が増加しました。

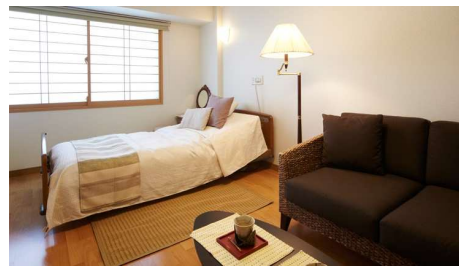
売上	414百万円
利益	151百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



介護事業

介護付有料老人ホーム **メルシー緑が丘**

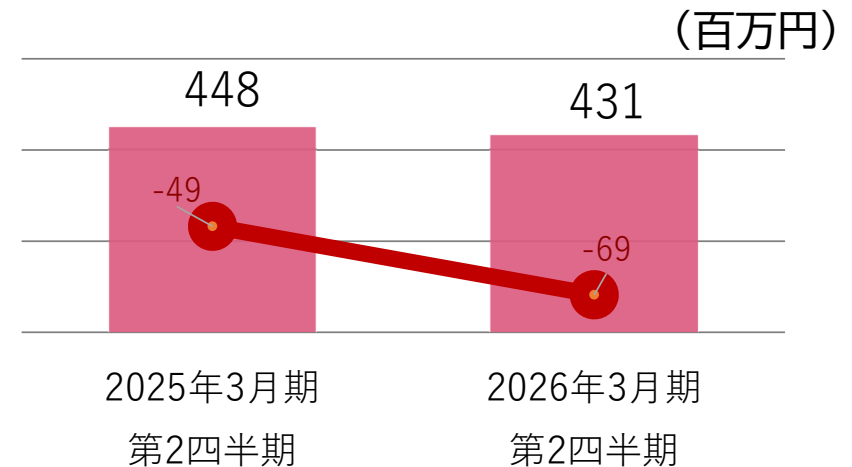


介護事業

介護施設の運営や介護サービスの提供を行っており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しています。各施設とも、引き続き感染予防対策に重点を置きながらの営業活動となっていることなどで稼働率回復に時間を要しており、また介護人材確保のための費用も増加したことにより、前年同期比で売上高が減少し、営業損失も増加しました。

売上	431 百万円
利益	-69 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



フランチャイズ 事業

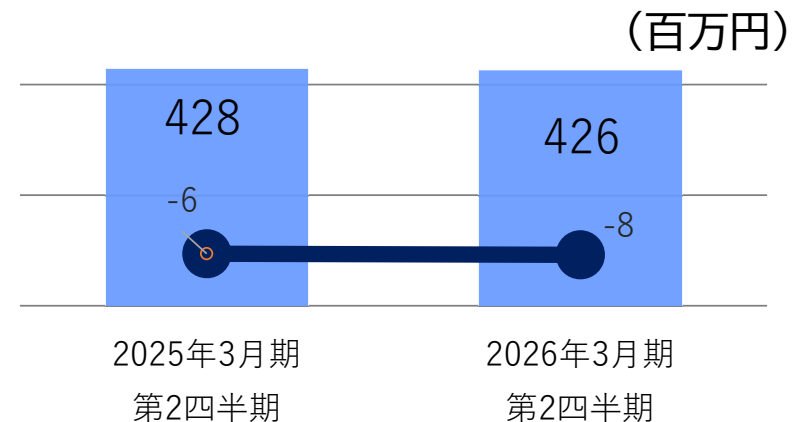


フランチャイズ 事業

店舗ブランドとして、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれ、プロント、ミスタードーナツ、銀座に志かわなどの店舗展開を行なっていましたが、銀座に志かわ堺東店を2024年10月に、やきとり家すみれ五反田店を2025年2月に閉店しました。すみれ五反田店の跡には自社ブランドとして新店舗の串揚げやみつ八を2025年3月より営業しています。閉店した店舗の影響などにより、前年同期比で売上高・営業利益が減少しました。

売 上	426 百万円
利 益	-8 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



ホテル 事業

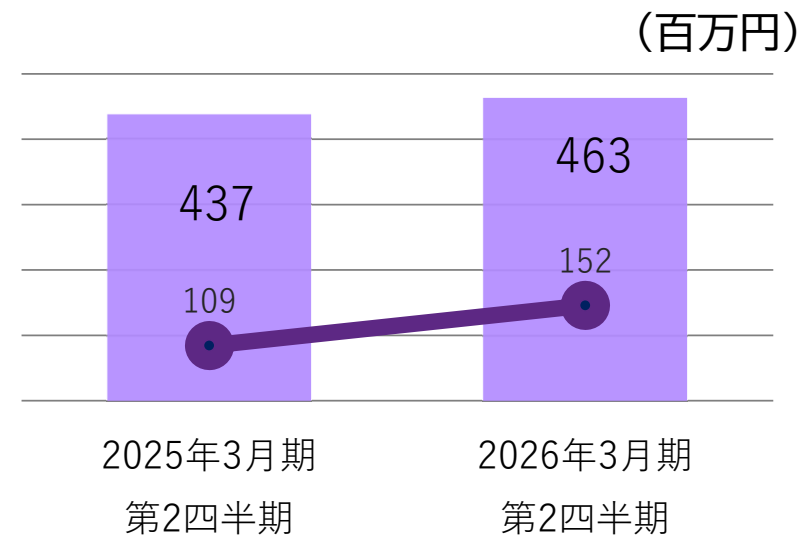


ホテル 事業

現在、東京と沖縄で2棟のホテルを運営しています。アフターコロナが浸透して人々の移動やインバウンド需要が活性化してきたこともあり、前年同期比で売上高・営業利益が増加しました。

売 上	463 百万円
利 益	152 百万円

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



その他 事業



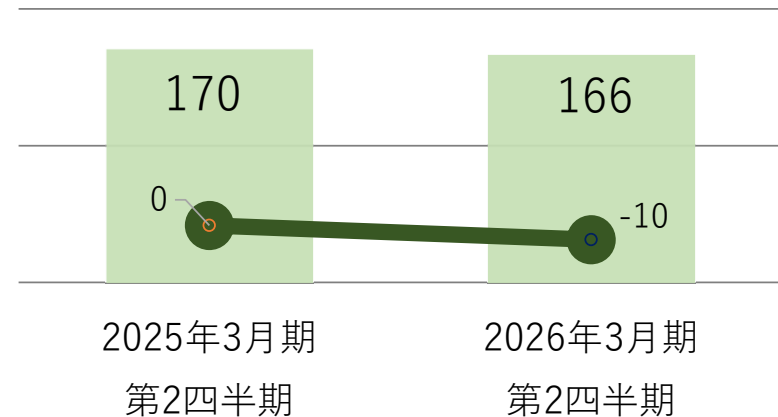
その他事業

その他事業ではフードコート運営事業、太陽光発電事業、関連商品販売事業などを行っていましたが、フードコート運営事業は今年8月末をもって撤退しました。撤退前のフードコート事業の不振により、前年同期比で売上高は減少し、営業損失は増加しました。

(百万円)

売上	166 _{百万円}
利益	-10 _{百万円}

記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。



経営環境における不安定要素の拡大

商業施設などの不動産の保有形態の多様化、公共施設などにおける指定管理事業化の増加、再開発事業の活性化、リノベーション事業ニーズの増加など、ビルメンテナンス業界をめぐる環境は大きく変化しております。
人材確保難、人件費高騰などの問題もますます顕著化しております。



ビルメンテナンス事業の成長戦略

- 当業界を巡る環境は大きく変化しており、環境の変化やお客様ニーズに即応した営業強化を図ってまいります。
- 具体的には、首都圏や関西圏をはじめとする大型開発プロジェクトや、地方再生リノベーション案件などに対して、初期段階からの各種提案などに積極的に取り組んでいきます。
- また、従前より注力しているPPP事業案件、物流倉庫・データセンター等へのメンテナンス業務、冷凍食品などの製造ラインの安全・衛生管理を担うサニテーション業務などを更に拡充していきます。
- 業務推進にあたっては、お客様所有不動産の物件価値向上に向けて、徹底した衛生管理、省エネなどのエコチューニング提案、業務のロボット化などの品質重視の各種メンテナンス提案を更に推進していきます。
- 業務管理においては、工数管理の徹底、人材確保の多様化、人材育成の強化、業務管理のDX化などを更に推進していきます。

ビルメンテナンス事業 以外の成長戦略

- 当社はビルメンテナンス事業以外に、不動産事業、介護事業、FC事業、ホテル事業、その他事業を展開しています。
- それぞれの事業は、中核事業であるビルメンテナンス事業とのシナジーを第一義として展開しており、多くの相乗効果が生まれています。
- しかしながら、それぞれの事業は経済環境に影響される部分も多いことから、状況に応じてスクラップ＆ビルドを考えながら展開してまいります。
- お客様には不動産に関わるファシリティーマネジメントを展開する総合ビルメンテナンス会社として評価いただけるよう、日々尽力してまいります。

グループ会社の成長戦略

当社にはM&Aでグループ化した会社を含め多くの連結子会社があり、それぞれ連携してお客様の多様なニーズにお応えし、グループ全体で成長してまいります。

【主な連結子会社】

(株)ベスト・プロパティ	創和工業(株)	(株)マイムコミュニティー	小倉興産(株)	SINGAPORE BIKEN PTE.LTD.
東京都港区	東京都世田谷区	東京都港区	福岡県北九州市	シンガポール
プロパティマネジメント /テナント仲介/ 売買仲介他	建物調査・診断/ 外装・防水改修工事 /大規模改修工事他	社宅管理代行/ 管理組合サポート業務 /不動産売買仲介他	リーシング業務/ フロント業務/アカウント業務 /コンストラクト業務他	ビルメンテナンス/ エアコンメンテナンス他
				

サステナビリティへの取り組み

私たちビケンテクノは、持続可能な社会に向けた責任ある経営を実践してまいります。省エネや廃棄物削減といった業務改善はもちろん、自社開発の環境配慮型商品や、グリーン調達の推進、外国人雇用・人材育成など、多角的にSDGsの達成に貢献してまいります。

ビケンテクノが思い描く未来

ビルメンテナンス事業を通じて、省エネ対応と環境負荷の低減を迫及し
持続可能な社会の構築に貢献します。



SDGsへの貢献

ビケンテクノグループは、
「快適環境の創造」をキーワードに様々な事業活動及び組織作りを通じて
SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献します。



サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ推進のため当社における重要課題を特定し、その達成に向けた取り組みを進めております。

特定した重要課題と関連するSDGs

安心・安全	衛生的・健康的な建物空間の提供	3 気候変動に具体的な対策を 11 住み続けられるまちづくりを
環境	持続可能な資材調達・環境配慮製品サービスの推進・エコチューニングの推進 再生可能エネルギーの活用	7 再生可能エネルギーを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸域生態系保護 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくばるべきものを
ガバナンス 企業価値	コンプライアンス・企業ガバナンス順守 DX・ITを活用した業務改革	9 産業・雇用イノベーション 16 平和と公正な社会を 17 パートナーシップで世界をより良くしよう
人と社会の価値	人権尊重、差別の排除 雇用の多様化・障がい者雇用、高齢者雇用、外国人雇用 ワークライフバランスの整備	5 ジェンダー平等を 8 豊かさを 10 人や国の不平等をなくそう
社会貢献	地域の人々の暮らしの質の向上 PPP事業による公共建物の維持・管理業務 医療・介護・保育事業による社会貢献 奨学財団の運営 地域貢献活動への参加	3 気候変動に具体的な対策を 11 住み続けられるまちづくりを

マテリアリティマトリックス



